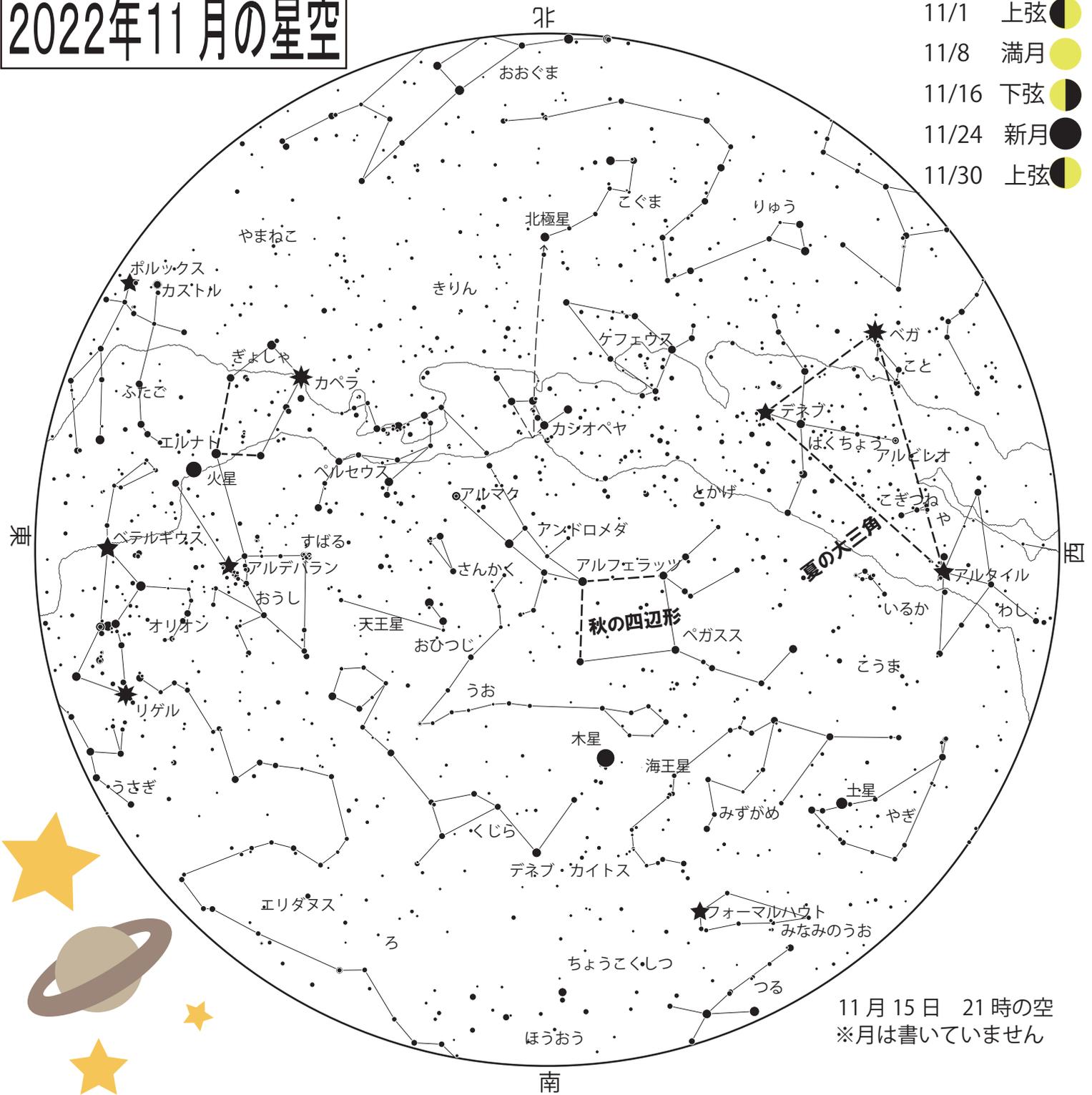


姫路で見る 2022年11月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 11/1 上弦 
- 11/8 満月 
- 11/16 下弦 
- 11/24 新月 
- 11/30 上弦 



11月15日 21時の空
※月は書いていません

日没後、南東の空にぽつんと目立つ明るい星は惑星の**木星**です。夜空の中でも際立つ明るさです。木星から西の方には**土星**も見えています。さらに西の空を見上げてみると、こと座の**ベガ**・わし座の**アルタイル**・はくちょう座の**デネブ**で作る「**夏の大三角**」もまだまだ観察できます。

夜になり木星が南の空高く上ってくる頃。秋の夜空の案内板となるのは、天高く翔ける馬**ペガサス**の胴体「**秋の四辺形**」です。北の空には王様・**ケフェウス座**、W字の星の並びが特徴的な王妃・**カシオペヤ座**があります。カシオペヤ座は**北極星**を探す目印としても知られていますね。秋の四辺形の左上の方から、Aの形に並んだ星の並びはお姫様・**アンドロメダ座**、その先には勇者・**ペルセウス座**。そして四辺形より空低い所には物語の悪役、怪物の**くじら座**もいます。秋の夜空はこうした「古代エチオピア王家物語」の登場人物たちに彩られています。

東の空からは赤く輝く惑星の**火星**や冬の星座たちが姿を見せています。12月1日には2年2カ月ぶりに地球と火星が近づくため、これから火星はより明るく見えるようになります。